

平成 29 年 8 月 30 日

下田正弘（東京大学大学院人文社会系研究科  
教授、大蔵経研究推進会議代表、SAT 大蔵経  
テキストデータベース研究会代表）

久留島典子（東京大学附属図書館長）

## デジタルアーカイブ「万暦版大蔵経（嘉興蔵）デジタル版」公開のお知らせ

このたび、大蔵経研究推進会議、SAT 大蔵経テキストデータベース研究会及び東京大学附属図書館は、東京大学総合図書館所蔵『万暦版大蔵経（嘉興蔵）』のデジタル化を行い、オープンライセンス（CC BY<sup>1</sup>）の下、19 万枚超の版面画像をデジタルアーカイブとして公開しました。

『万暦版大蔵経（嘉興蔵）』は、16 世紀末に中国で木版にて刊行された仏典の叢書であり、江戸時代に刊行され日本に広く普及した黄檗版一切経の底本として用いられたことで、大正新脩大蔵経を含め日本の仏教に大きな影響を与えた重要な資料です。

本デジタルアーカイブでは、画像公開フォーマットとして、まだ国内では採用例の少ない IIIF（International Image Interoperability Framework：デジタル画像相互運用のための国際規格）に準拠しています。また、嘉興蔵の画像と大正新脩大蔵経のテキスト・画像とを容易に対比できる仕組みの提供のほか、英語版インターフェイスやスマートフォン・タブレット端末へも対応することで、学術研究の利便性の向上に加え、広く国際的に活用されることも期待しています。

本デジタルアーカイブでは、見開きページを 8000 万画素カメラで撮影し、国際的な Web 上の高精細画像共有規格である IIIF（International Image Interoperability Framework）に準拠して公開しました。また、研究上の利便性を高めるため、SAT 大蔵経テキストデータベース研究会が公開している 1 億字超のテキストデータと 8 万ページの画像から成る大正新脩大蔵経のテキスト・画像と容易に対比できる仕組みも提供しています。インターフェイスとしては日本語版以外に国際的な利用・活用に配慮して英語版も作成いたしました。一部機能を除き、スマートフォン・タブレット端末にも対応しております。

詳しい使い方については、本 Web サイトの「このサイトについて⇒使い方」をご覧ください。また、本システムは様々なフリーソフトウェアを組み合わせることで構築されており、その詳細についても記載しております。ご関心がおありの方は、本 Web サイトの「このサイトについて⇒作り方」をご覧ください。

本システムは、Web 上での高い利便性を目指して開発したものであり、今後も改良を続けていく所存ですが、様々な利用方法に対応すべく、軽量の PDF 版を提供するとともに、株式会社インプレス R&D のご厚意により、流通経費のみでのオンデマンドプリントによる紙媒体版もご提供しております。

なお、本事業は、公益財団法人全日本仏教会、科学研究費補助金基盤研究（S）「仏教学新知識基盤の構築—一次世代人文学の先進的モデルの提示（15H05725）」及び一般財団法人人文情報学研究所の支援により実施されました。デジタル撮影は株式会社インフォマージュ、システム

---

<sup>1</sup> 原作者のクレジットを表示することを主な条件とし、改変はもちろん、営利目的での二次利用も許可される最も自由度の高いクリエイティブ・コモンズ・ライセンス（CC ライセンス）。

開発は一般財団法人人文情報学研究所人文情報学研究部門によって行われました。最後に、大正新脩大蔵経の画像・テキストデータの利用は、大蔵出版株式会社の好意により実現しました。ここに記して謝意を表します。

「万暦版大蔵経（嘉興蔵）デジタル版」<https://dzkings.l.u-tokyo.ac.jp/kkz/>

**問い合わせ先：**

sat@l.u-tokyo.ac.jp (SAT大蔵経テキストデータベース研究会)

< トップページ >

東京大学総合図書館万暦版大蔵経(嘉興蔵)デジタル版 このサイトについて 万暦版大蔵経(嘉興蔵)とは English

## 万暦版大蔵経(嘉興蔵)デジタル版

東京大学総合図書館所蔵  
大蔵経研究推進会議・SAT大蔵経テキストデータベース研究会作成

検索

正編

|                 |                 |                 |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| ▶ 第1巻 - 第20巻    | ▶ 第21巻 - 第40巻   | ▶ 第41巻 - 第60巻   |
| ▶ 第61巻 - 第80巻   | ▶ 第81巻 - 第100巻  | ▶ 第101巻 - 第120巻 |
| ▶ 第121巻 - 第139巻 | ▶ 第140巻 - 第159巻 | ▶ 第160巻 - 第179巻 |
| ▶ 第180巻 - 第199巻 | ▶ 第200巻 - 第219巻 | ▶ 第220巻 - 第239巻 |
| ▶ 第240巻 - 第249巻 |                 |                 |

< 画像詳細 1 >  
通常の表示画面

東京大学総合図書館所蔵万暦版大蔵経(嘉興蔵)デジタル版 このサイトについて 万暦版大蔵経(嘉興蔵)とは

三 嘉興蔵(万暦版大蔵経) 第42巻 第1冊

- ▶ 目次
- ▶ 大般涅槃経 巻1 / 慧嚴譯 / SAT TextDB
- ▶ 大般涅槃経 巻2 / 慧嚴譯 / SAT TextDB
- ▶ 大般涅槃経 巻3 / 慧嚴譯 / SAT TextDB
- ▶ 大般涅槃経 巻4 / 慧嚴譯 / SAT TextDB
- ▶ 大般涅槃経 巻5 / 慧嚴譯 / SAT TextDB

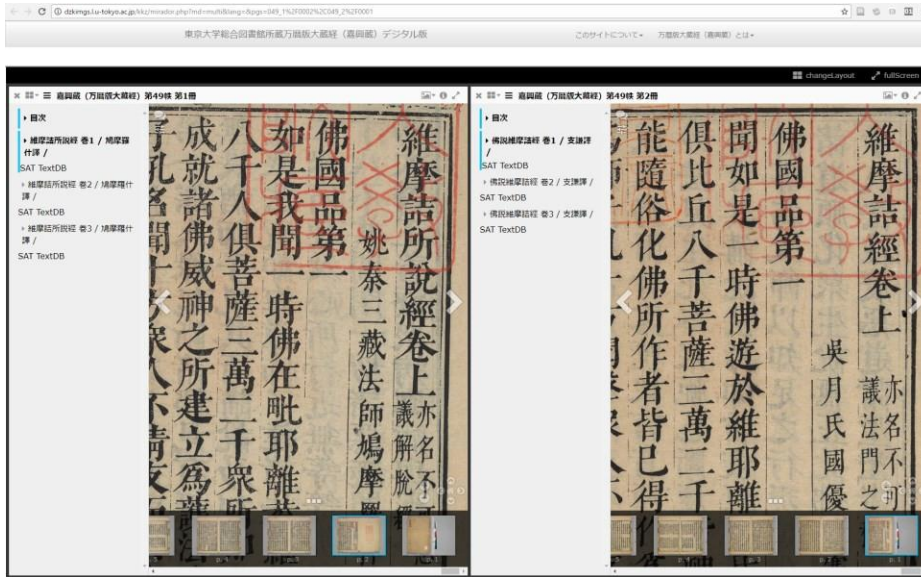
南本大般涅槃経巻第一  
北凉天竺三藏曇無讖译梵  
宋沙門慧嚴慧觀同謝靈運再治

皇圖鞏固 帝衛遐昌  
佛日增輝 濃輪常轉

序品第一  
如是我聞一時佛在拘尸那城力士生地阿夷羅  
提河邊娑羅雙樹間爾時世尊與大比丘八十億  
千人俱前後圍繞二月十五日臨涅槃時以佛神  
出大音聲其聲徧滿乃至有頂隨其類音普告眾  
今日如來應供正徧知憐愍眾生覆護眾生等視  
生如羅睺羅為作歸依為世間舍大覺世尊將欲

<画像詳細 2>

IIIF の機能を活かし「同じインドのお経の別々の古典中国語訳」を並べて表示している。



<画像詳細 3>

「大正新脩大藏經」の全文テキストデータと照合している。

